



# 南町小だより

つよく かしく あたたく

平成27年6月30日

校長 福田 俊彦

## 水泳指導 「自分の命は自分で守る」

校長 福田 俊彦

6月15日のプール開きから、今年度の水泳学習が始まりました。5年生の代表が、これまでの自分の水泳学習の振り返り、今年目標について、立派な姿勢で、大きな声で全校の子供に伝えました。子供たちの心が向き合っている場面となりました。

校長からは、安全な水泳学習について子供が確認できる話をしました。安全な学習をするためには、先生の話をしっかり聞き、行動することが大切です。水泳学習の場で、自分勝手な判断のもと、自分だけの考えのもとで行動したのであれば、安全を確保することはできません。南町小学校の子供たちは、これまでも、しなければならないことをしようと、してはいけないことをしないようにしてきました。日常の生活で身に付けたことを、水泳学習の場面でも行える子供たちと捉えています。

水泳指導では、水泳の技術を身に付けることもありますが、水に対する知識、身を守る考え方や態度を身に付けていくことも欠かせないことです。技術の向上については、「〇級をめざしたい。」「〇秒以内に泳げるようになりたい。」「正しい泳法で泳げるようになる。」などを子供が話しています。ある子供は、自分の目標を秒数に置いていました。そのために、何をどうするかを考え始めています。また、ある子供は、身の安全を守ることを考えています。着衣泳もその一つです。水泳指導で学んだことは、水泳指導で終わってはいけないことです。学校から離れたところでも、水に対して安全な行動がとれるようになることが大事です。河川や海、湖で水に接する機会もあるでしょう。学んだことが、身近な大人の方の言葉かけによって活かされるようになればと考えます。

1年生にとっては、プールをととても大きく感じることでしょう。これまでに経験のない水の動きを、体で受けとめることもあるでしょう。それら一つ一つのことが、子供の学びです。6年生にとっては、小学校での水泳学習が最後となります。そして、9月には、連合水泳記録会に参加をします。開進第二小学校、向山小学校の6年生と一緒に泳ぎます。競い合います。応援に心を込めていきます。これも貴重な経験の一つです。この6年生の姿は、下学年の目標となります。6年生の頑張りを、仲間を思う気持ちを伝えていきます。

水泳指導に向かう子供の表情は、いろいろです。水泳指導を終えた子供の表情の多くは、がんばってきたという思いを表情に漂わせています。自分の目標を明確にし、今日の学習でどこまでがんばれたか自分に問うてみることで、次の目標が生まれてきます。安全への意識も更に高まっていきます。この夏の経験が、「自分の命は自分で守る」ことへつながっていくことを期待しています。

そして、9月7日のプール納めで、自分の頑張りをつかませ、次に向かっていく子供の気持ちを大切にしていきます。ご家庭でも、お子さんの話から、励ましの声かけをしていただければ幸いです。